



2024年12月26日

各 位

会社名 株式会社ジーニー
代表者名 代表取締役社長 工藤 智昭
(コード番号：6562 東証グロース)
問合せ先 上級専門執行役員 菊川 淳
(CFO)兼
投資戦略部部长
(TEL. 03-5909-8177)

資本業務提携契約の締結及び第三者割当増資引受に関するお知らせ

本日、当社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤智昭）は株式会社ピアラ（コード番号：7044、東京証券取引所スタンダード市場、本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：飛鳥 貴雄、以下、ピアラ）との間での資本業務提携（以下、本資本業務提携）及びピアラが実施する第三者割当増資（以下、本第三者割当増資）により発行される株式を引き受けることを決議いたしました。

記

1. 業務提携の理由

当社は「誰もがマーケティングで成功できる世界を創る」というパーパスのもと、「広告プラットフォーム事業」「マーケティングSaaS事業」「海外事業」「デジタルPR事業」の4つの事業を展開しております。また、ジーニーのグループ会社であるJAPAN AI株式会社（以下、JAPAN AI）は最先端の生成AIソリューションを開発しており、日本企業の生産性向上に貢献しています。

ピアラは「全てがWINの世界を創る」という経営理念のもと、「Smart Marketing For Your Life」をビジョンに掲げ、クライアントのオールデータパートナーとなるべく、ヘルスケア&ビューティおよび食品市場の通販DX事業を軸に、事業開発から商品開発、インフラ整備、ブランディング、オンライン・オフラインでの新規顧客の獲得から既存顧客の育成までを、一気通貫の専門ソリューションとして提供しています。また、近年は自社の営業活動にAIを導入するなど、AIを用いた事業の効率化を経営上の重要な施策として展開しています。

当社とピアラは、当社が提供するチャットプロダクト等の拡販において提携を開始しており、さらなる協力体制の強化を協議しました。この度、生成AI開発をはじめとするジーニーグループの技術力を活かし、ピアラのマーケティング業務のDXを推進することで、両社の企業価値の発展に寄与できるものと考え、業務提携を実施することとなりました。

2. 資本提携の理由

ピアラおよびその連結子会社を含むグループ会社（以下、ピアラグループ）は、2021年12月期から継続して赤字を計上し、自己資本比率が低下していたため、財政状態の強化を早期に図る必要がありました。このため、エクイティファイナンスのニーズが生じておりました。

一方、当社においても、上記の業務提携の中長期的な有効性を確保するためには、今後の純資産が継続的に維持される可能性を確認することが非常に重要であると判断しております。

現状、ピアラの業績回復状況については、2024年12月期において新規領域である人材、金融、不動産分野への進出が奏功し、第3四半期の連結累計期間における売上高が前年同期比32.7%増の9,364百万円となり、回復傾向にあることが確認されました。また、第3四半期会計期間においては、ピアラ単体として黒字転換を果たすまでに業績が回復しており、2024年11月14日に公表された「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において、第3四半期累計会計期間の業績を踏まえると、第4四半期会計期間における親会社株主に帰属する当期純利益が大きく黒字となることが想定されています。

このような背景のもと、上記の業務提携により、ピアラグループのマーケティング業務のDXが強化され、売上向上およびコスト削減が見込まれるため、同社における純資産維持の可能性は高く、投資回収可能な範囲でエクイティファイナンスに応じることには一定の合理性があると判断しています。

なお、当社からの投資金額については、当該取引により見込まれる利益総額を試算し、回収可能性を慎重に検討した上で決定しています。

3. 業務提携の内容等

(1) 業務提携の内容

当社グループがマーケティングシステムおよび生成AIプロダクトをピアラに導入することにより、当社の売上高増加とピアラの販売管理費の削減が見込まれます。また、実際のシステム開発は、当社グループ会社であるJAPAN AIと連携し行われます。

- (i) 当社はピアラに対し、GENIEE Marketing Cloudシステム（GENIEE SFA/ CRM、GENIEE CDP）を提供する。
- (ii) 当社はピアラに対し、生成AIによるマーケティングDXソリューションを提供する。

(2) 資本提携の内容

① 引受株式数	普通株式129,300株
② 払込価額	1株につき232円
③ 払込価額の総額	29,997,600円
④ 払込期日	2025年2月3日（予定）
⑤ 本第三者割当増資による引受株式数の発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合	1.80%

※（参考）当社はピアラと2024年12月18日を払込期日とし、第三者割当により普通株式を引き受けており、本第三者割当増資と合算した数値は以下となります

累計引受株式数 242,500株

持株比率（自己株式を除く） 3.39%

払込価額の総額 59,995,600円

4. 資本業務提携の相手先の概要

(1)	名称	株式会社ピアラ		
(2)	所在地	東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号 恵比寿ガーデンプレイスタワー		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 飛鳥貴雄		
(4)	事業内容	1. EC マーケティングテック事業 2. 広告マーケティング事業		
(5)	資本金	866百万円 ※2024年12月18日払込期日の増資による増加分を含む		
(6)	設立年月日	2004年3月24日		
(7)	大株主及び持株比率 (2024年12月18日払込後) ※	FLYING BIRD株式会社		23.78%
		飛鳥 貴雄		10.72%
		株式会社大石キャピタル		4.93%
		大石 崇徳		4.69%
		根来 伸吉		3.91%
		三菱UFJキャピタル6号投資事業有限責任組合		2.90%
		株式会社SBI証券		2.21%
		楽天証券株式会社		1.90%
		株式会社ジーニー		1.61%
		日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)		1.18%
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	ピアラの発行済株式の1.56%を保有しております。	
		人的関係	該当事項はありません	
		取引関係	当社、その連結子会社であるCATS株式会社およびグループ会社であるJAPAN AI株式会社との取引がございます。また、当社の連結子会社であるソーシャルワイヤー株式会社とも過去に取引を行った実績があります。	
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9)	当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			(単位：千円)
	決算期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
	純資産	1,932,764	1,610,614	582,683
	総資産	5,028,694	4,859,032	3,534,386
	1株当たり純資産(円)	265.76	218.93	76.67
	売上高	11,676,909	11,775,448	9,064,841
	営業利益	△136,052	△110,771	△383,730
	経常利益	△111,504	△131,470	△423,941
	親会社株主に帰属する当期純利益	△259,815	△232,577	△982,818

1株当たり当期純利益 (円)	△36.65	△33.59	△141.95
1株当たり配当金 (円)	5.00	0.00	0.00

※ピアラは、2024年6月30日時点、自己株式197,900株を保有していますが、上記の大株主から除いています。また、「持株比率」は、2024年6月30日時点の自己株式を除いた総議決権数(69,211個)に2024年12月18日の払込により増加する議決権数1,132個を加えた数で除して算出しております。

(参考) ピアラ2024年12月期 連結経営成績

(単位：千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期 (※予想)
売上高	2,948,450	2,979,371	3,437,105	4,133,074
営業利益	△59,672	△114,939	△35,541	25,152
経常利益	△49,134	△104,582	△45,564	64,280
親会社株主に帰属 する当期純利益	△69,373	△116,457	5,476	67,354～ 118,354

※第4四半期予想については、2024年12月期通期連結業績予想(2024年11月14日にピアラが開示)から、当第3四半期連結累計期間の実績を差し引き算出しております。

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2024年12月26日
(2) 本資本業務提携 契約締結日	2024年12月26日
(3) 本第三者割当増資 に係る払込日	2025年2月3日(予定)

6. 今後の見通し

本件に伴う業績への影響は軽微なものを見込んでおりますが、中長期的には当社グループの企業価値向上に資するものと考えております。今後、適時開示の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上